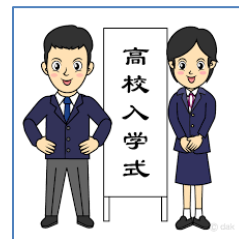


■入学おめでとう！

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんは期待や不安など、さまざまな思いを持って本校に入学されたことと思います。高校は中学校と比べて、学習面はもちろん、部活動や学校行事においても自主性が大きく求められます。何事も自分から積極的にチャレンジしていけば多くのことが得られます。まずは、積極性を大事にしましょう。



高校生活の面白さの一つは、知り合える人の幅広さです。中学校までに知り合える人と言え、せいぜい自分の住んでいる地域の人だけだったのではないかと思います。しかし、高校（特に本校の場合）になると、地元だけでなく、遠く離れたところから通学（入学）してくる生徒が大勢います。そういった人たちとの出会いもぜひ大切にしていきたいです。

高校は義務教育ではなく、自分でしっかりとがんばって、進級や卒業のための基準をクリアしなくてはなりません。欠席が多くなると進級に影響しますし、定期考査の点数や提出物の提出状況も成績に大きく影響します。十分に気をつけましょう。

コロナ禍で、不自由を強いられることも多々あるかと思われませんが、みなさんには、しっかりと生活をしていただきたいと思います。詩人で書家でもあった相田みつをさんの詩に、「何をやっても思うようにならない時／上のびられない時に／根は育つんだから」というものがあります。まさに、このコロナ禍という多くのことが思うようにならないピンチにおいて、しっかりと根を張り、人生の基礎・基本となる土台を作ること、今後の飛躍に結びつけられたら・・・と考えるのは、筆者だけではないと思います。目的、目標はそれぞれ異なるでしょうが、充実した高校生活となることを願っています。

■2・3年生のみなさんへ

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。気持ちを新たに学校生活を送っていきましょう。2年生は「中だるみ」の時期などによく言われます。本校での生活にも慣れてきたことですので、学習に部活動に・・・と充実した生活を送れるよう、がんばっていきましょう。2年生でのがんばりが進路を決定させていくと言っても過言ではありません。



3年生諸君は、いよいよ進路活動が本格化していきます。現時点で、ある程度、自分の方向性が決まっている人はそれに向けて着実に努力を重ねていってください。進学か就職か、大学か専門学校か・・・などで悩んでいる諸君もいると思います。自分の人生ですので、とことん悩み、じっくり考えて選択していくようにしてほしいものです。安易に決めてしまうのはとても危険ですし、ここでの選択は、人生を左右する1つの大きな岐路（きろ）と言えます。先生や家族、友だちなどもしっかり相談して、後悔しなくて済む判断をしていくようにしてください。

新入生へのコメントにも書いたように、当面はコロナ禍で、思うようにいかない部分もあるかもしれませんが、何とか乗り切っていきましょう！！

■卒業生の合格体験記

3月に卒業した昨年度卒業生の合格体験記です。今回は、埼玉大学に進学した岡部至恩さん、岩手大学に進学した菅野生真さんの2名です。1年生のみなさんは、高校受験が終わったばかりでまだピンとこないかもしれませんが、学年、コースを問わず、ぜひ参考にしてみてください。

【合格体験記】 岡部至恩さん（昨年度3年5組）

埼玉大学経済学部経済学科 成城大学法学部法律学科

駒澤大学経済学部経済学科 専修大学経済学部現代経済学科

神奈川大学経済学部経済学科合格

私は高校受験で第1志望校に落ちてしまいました。昌平高校に入学したての時は不安もありましたが、悔しさを忘れず、大学は第1志望に合格したいと思い、高校3年間勉強を頑張りました。



私が埼玉大学を考えたのは3年生になってからですが、オープンキャンパスもコロナウイルスの影響で中止になってしまい、実際に大学を見学することはできませんでした。ですから、大学の情報はパンフレットから集め、志望校を決めました。その時点では成績はかなり足りていなかったのですが、覚悟を決めて本気で勉強に力を入れ始めました。

埼玉大学は二次試験よりも共通テストの配点の方が高い割合を占めていたので、共通テストに向けた勉強に集中しました。そのおかげか、本番では目標よりも高い点数を取ることができ、二次試験に向けた勉強にも落ち着いて取り組むことができました。

3年生の受験期は親や友人だけでなく先生方にも大変お世話になりました。もし志望校や成績などで相談がある場合は親、友人、先生方など、周りの人たちと協力して受験というものを乗り越えてほしいと思います。これから大学4年間、楽しいこと、つらいこともたくさんあると思いますが、頑張りたいと思います。

【合格体験記】 菅野生真さん（昨年度3年5組）

岩手大学農学部応用生物科学科合格

私は岩手大学に合格しました。一番緊張したのは、共通テストの時でも二次試験の時でもなく、合格発表の直前でした。合格発表されて自分の受験番号が書いてあった時も実感が湧かなくて、入学申請の書類が届いた時に初めて受かったんだなと思いました。



（裏面へ続く）

共通テストでは、自分の目標点数よりも高くして上手くいすぎて、二次試験で失敗してしまうのではないかと不安がありました。そのプレッシャーに打ち勝つことが出来ました。特に努力したことはこれとってないと思います。自分は努力することが嫌いとか、好きなものに対しては努力できるものの、興味のないものは努力しないという人間です。しかし、共通テストは全ての教科がまんべんなく必要なので、興味のないものでもしっかり解けるように何度も繰り返し勉強したことが強いて言うなら努力したことだと思います。

私は、受験に向けてのエンジンを入れるのが遅かったので、個人的に合格出来たのは運の力もあったと思います。3年になる前や3年になってからすぐ、1日30分でもいいから勉強しておく自分の目標の大学に近づくとと思います。後は自分の目指している大学の赤本や過去問を解かずとも見るだけで、今の自分の学力とどれほど乖離（かいり）しているか自覚出来ると思うので、見しておくことをおすすめします。

正直、勉強法やテストの点などは個人差なので、過去の自分を越えることを目標にしたりすると自分の成長をしっかりと認識できるかなとも思います。自分と近い偏差値の友達と競ったりするのもいいと思います。自分はそうでしたが、点数が取れるとその教科がだんだん楽しくなってきた勉強に身が入ると思うので、苦手な教科でもしばらく勉強を続けてみることをおすすめします。

最後にこんなことを書くのもなんですが、大学入学のみで人生が決まるわけではないので、緊張しすぎることなく適度に力を入れて頑張ってください。

■ 保護者対象進路説明会（動画）について



3月16日（火）～3月26日（金）にかけて、新高校3年生の保護者の皆様を対象にした保護者対象進路説明会の動画を配信しました。コロナ禍ということ、特に体育コースで県外出身者が多いことから動画配信という形で実施させていただきました。分かりにくい部分もあったかと存じますが、参考にしていただければ幸いです。

進学希望者に関しては、学校の選択を安易に行わないようにしてほしいと思います。大学か専門学校か、文系か理系かといった大枠だけでなく、例えば、文系の社会科学系でも法律学を専攻していくのと経済学を専攻していくのとでは大きな違いがあるでしょうし、同じ工学系でも機械と電気では異なる部分も多くあることでしょう。自分の興味・関心に基づいた選択をするよう、ご家庭でもしっかりと話し合ってください。加えて、学費関係で資金繰りの重要性についてもお話ししました。日本学生支援機構の奨学金を利用するお考えのご家庭もあるかと存じますが、おそらく5月頃にはClassi等でご案内することになるかと存じますので、ご注意願います（※若干、早まる可能性もあります）。

就職についてもお話ししましたが、7月上旬には求人票を生徒諸君に示す予定です（※1学期末考査終了後）。それまでにどのような業種、職種に就きたいかについてご家庭でも話し合っておいてほしいと思います。毎年、公務員関係を目指す諸君もいますが、一定程度の基礎学力を養っていく必要があります。

なお、不明な点がありましたら、早めに進路指導係の清水までお問い合わせください。

■孔子の教えを修得しよう！

筆者はこの5年ほど、卒業式に配付する本紙の卒業式特別号で、明治大学教授の齋藤孝さんが著書『人はなぜ学ばなければならないのか』（じっぴコンパクト新書）で触れている「『人類の教師』という意味で教師らしい教師」として孔子が挙げられるという話を取り上げています（※令和元年度は、卒業式が中止となったため、配付できませんでした）。ちなみに、齋藤さんは、孔子以外にソクラテス（古代ギリシャの哲学者）も「『人類の教師』という意味で教師らしい教師」の一人として名前を挙げています。以前は、卒業式特別号でソクラテスの話にも触れていましたが、近年は、本校の建学の精神が孔子の「儒学」に基づくことから、高校3年間（中高一貫教育6年間）で、孔子の教えから何を学んだかを確認するために、その話だけに絞（しぼ）って触れるようになりました。



昨年度は新型コロナウイルスの影響で、聖賢堂での『修為要領十七条』の唱和が行えませんでした。本校で学ぶ意義の一つが、この孔子の教えを17の条文にまとめた『修為要領十七条』の内容を理解するところにあります。当面は昨年度に引き続き、聖賢堂での唱和を行えそうにありませんが、たまには、『修為要領十七条』の冊子を開いて条文に触れてみてほしいと思います。

ちなみに、昨年度の重点目標は、第九条の「労苦に耐ふべし、心身の鍛錬を怠（おこた）ること勿（な）かれ」でした。昨年度1年間は、「コロナに耐える1年間」となってしまう、学習や部活動などを通して心身を鍛える1年間となったかはそれぞれに思うところがあるでしょうが、2・3年生のみなさんは振り返ってみてどうだったでしょうか？

今年度の重点目標は、第五条の「誠実なるべし、己を欺（あざむ）くこと勿かれ、人を欺くこと勿かれ」に決まりました。最近（※少なくともこの10年くらい）のさまざまな情勢を見ていると、「正直者が馬鹿を見る」ということが多方面で見られるようになった印象があります。決してそのようなことのない社会を築いていくことは重要なことですし、そのためにも他人を欺くようなことをしてはいけません。他人を欺かないためには、まず自分自身に嘘をついたり、ごまかしたりするようなことがあってはならないと思います。

1年生のみなさんには、早く本校での生活に慣れていってほしいと願っています。上にも記したように、コロナ禍であるため、本校舎4階の聖賢堂で唱和する機会（※特進コースは通常であれば第二校舎で実施）がなかなか取れそうにありませんが、そのような中でも、上記の重点目標をはじめ、『修為要領十七条』の条文の中から、「これは特に守って生活していきたい！」というものを見つけ出してほしいと思います。この17の条文には、すべて当たり前のことしか書かれていませんが、それを実行に移すというのは意外と難しいことなのかもしれません。何か1つでも実行に移せるように、常日頃から心掛けていってほしいと思います。もちろん、2・3年生のみなさんも、『修為要領十七条』の条文に書かれていることを普段から少しでも意識して、校歌の一節にある「倫理を求め昌平覺」に沿う生活を心掛けていくようにしてください。

文責：清水聖（進路指導主事）